

NPO 法人 地産地消を進める会

# 第9回通常総会

## 議案書

日時 2019年7月23日(火)

17:30~19:00

場所 アルヴェ 洋室C(4階)

(秋田駅東口すぐ)

終了後、駅前で懇親会を行います。

### 次第

- (1) 2018年度活動報告
- (2) 2018年度会計報告
- (3) 2019年度活動計画
- (4) 2019年度予算
- (5) その他

※ 総会当日はこの議案書をご持参下さい。

# 1. 2018年度活動報告

2013年の総会で「事業型 NPO」から「若い世代を支援し、運動を若い世代に継承する NPO」へと路線を転換して5年が過ぎ、昨年は「オガニック」「有機農業」「羊」の3つの活動で、若い世代と一緒に新しい動きを作り出すことができました。

また、かねてから検討していた地産地消、有機農業、グリーンツーリズムが連携した交流ツアーもようやくスタートの準備が整いました。

長い間支えて下さっている会員の皆さまに感謝の気持ちを込めて、昨年度の活動をご報告します。

## 1. 男鹿市における「オガニック農業」を支援しました。

昨年2月に設立された「オガニック農業推進協議会」（船木一人代表）を支援するため農林水産省の「オーガニックビジネス実践拠点づくり事業」の事務局として、次のような活動を応援しました。4回開いた研修会を後援し、案内を会員の皆さんにもお送りしました。おかげさまで、男鹿市に有機農業を広める基盤づくりができました。

- ・第1回研修会「畑でおいしい水をつくる」（講師：橋本力男さん、8月30～31日、ハートピア男鹿）
- ・実需者との意見交換会：オガニック農産物のスペシャルランチを食べながら（9月4日、大龍寺）
- ・第2回研修会「橋本流 良いたい肥の作り方」（講師：橋本力男さん、11月2日、脇本公民館）
- ・第3回研修会「有機農業から始まる地域活性化」（講師：大江正章さん、1月12日、脇本公民館）
- ・第4回研修会「誰でもわかる有機農業の経営と販売」（講師：高橋太一さん、2月10日、脇本公民館）
- ・男鹿市産の有機大豆とソバを使った加工品（お茶とお菓子）の開発（こおひい工房珈音）
- ・マニュアル「有機農業を始めてみませんか？ ～男鹿市版 有機農業マニュアル 2018～」の制作

## 2. 秋有協と連携して、食の安全を守り環境に配慮した有機農業を広める活動を行いました。

9回目となった「オーガニックフェスタ」、「健康な作物は健康な土壌から～土壌診断結果の見方と栽培への活かし方」（1月25日、講師：金田吉弘先生）、映画「100年ごはん」の自主上映会（11月25日）など秋有協の事業を後援しました。これらの活動を通じて、若い有機農家や子育て世代の女性たちとの交流が深まりました。

## 3. 10年ぶりに「衣の地産地消 羊の学校」に関わる動きが生まれました。

地産地消と言えばもっぱら「食」の話になりますが、もともとは生活全部が地産地消でした。藤里町で飼育されている羊の毛が利用されないまま捨てられているのを知って、それを使って「衣の地産地消」ができないかと2008年8月に始めたのが「羊の学校」でした。今年不思議なご縁で県立大学で羊好きの同僚（江口真規先生）と学生（武藤達未君）と私たちが出会い、学生サークル「つむぎサークル」が誕生しました。

「工房ぬくもり」の鈴木美保子先生のご指導をいただき、藤里町から羊毛をいただき、私たちが教える側に回って、10年前に学んだ羊毛の扱いや地産地消の考え方を若い学生たちに伝えています。

また、今年秋田県内で羊を飼育している生産者が集まって「秋田県緬羊生産組合」が設立されるなど、羊が今盛り上がっています。

## 4. 「あきた産デーフェア」を通して、地産地消に取り組む県内事業者を支援しました。

### （1）「あきた産デーフェア出展者協議会」の支援

2008年4月から協議会方式で運営している「あきた産デーフェア出展者協議会」ですが、昨年度も事務局として開催を支援しました。今年から回数を1回増やして5月も開催しました。協議会の会員数は横ばいですが、少しずつ若い会員が増えているのが明るい材料です。

## (2)「地産地消普及啓発事業」の実施

例年通り、「あきた産デーフェア」の実演ブースで地産地消の食材や料理を紹介しました。5月「春野菜をおいしく食べよう：2種類のディップで」、6月「ズッキーニを麺で食べる」、7月「甘酒ドレッシングで夏野菜をおいしく」、9月「秋田県産マヨネーズの食べくらべ」、10月「里芋のポタージュと家庭で作れる揚げたてポテトチップ」でした。

## 5. 「持続可能な社会へのトランジション」の研究を継続しました。

能代市の常盤地区の農家と上町の消費者が連携して地域起こしに取り組んでいるユニークな団体が「常盤ときめき隊」です。この団体の活動に注目して研究しています。昨年「ときめきマルシェ」という新しい取り組みを始めました。市民が主導する持続可能なまちづくりが少しずつ進んでいます。

## 6. 会員と一緒に、秋田県内の地産地消、有機農業やグリーンツーリズムの魅力を楽しむ交流ツアーを始めます。

NPO 法人になって8年、ずっと社会に向けた活動を続けてきましたが、このあたりで原点に戻って、会員と一緒に秋田県内の地産地消、有機農業やグリーンツーリズムの魅力を楽しむ交流ツアーを始めたいと思い、準備を進めてきました。ようやく準備が整いましたので、次年度から年3～4回の交流ツアーを行います。

## 7. さまざまなメディアを通して会の主張や活動を情報発信しました。

### (1) ホームページの更新

ホームページはあまり更新できませんでした。課題として残りました。

### (2) 通信を1回発行しました。

通信47号を発行しました。

## 8. 会員の状況 現在70名です。

## 2. 2018年度会計報告

### 活動計算書

特定非営利活動法人 地産地消を進める会

2018年6月1日から2019年5月31日まで

単位:円

科 目	特定非営利活動に関わる事業	その他の事業	合 計	備 考
I. 経常収益				
1. 受取会費	147,000	0	147,000	
2. 受取寄付金	0	0	0	
3. 事業収益	543,671	0	543,671	
(1)30年度あきた産デーフェア事務委託	267,000	0	267,000	
(2)31年度あきた産デーフェア事務委託	67,000	0	67,000	
(3)30年度あきた産デーフェア啓発事業	170,169	0	170,169	
(4)31年度あきた産デーフェア啓発事業	39,502	0	39,502	
(5)その他の事業	0	0	0	
4. その他の収益	324	0	324	
(1)雑収入	324	0	324	
経常収益計	690,995	0	690,995	0
II. 経常費用				
1. 事業費	614,221	0	614,221	
給与謝礼	270,100	0	270,100	
諸謝金	151,626	0	151,626	
法定福利費	65	0	65	
福利厚生費	0	0	0	
交際費	10,900	0	10,900	
会議会場費	24,520	0	24,520	
旅費交通費	72,775	0	72,775	
研修費	2,000	0	2,000	
通信費	30,094	0	30,094	
消耗品費	45,941	0	45,941	
外注費	6,200	0	6,200	
その他雑費	0	0	0	
2. 管理費	48,372	0	48,372	
光熱水費	0	0	0	
地代家賃	0	0	0	
諸会費	40,000	0	40,000	
支払い手数料	1,722	0	1,722	
租税公課	400	0	400	
その他雑費	6,250	0	6,250	
経常費用計	662,593		662,593	
当期経常増減額	28,402		28,402	
III. 経常外収益				
経常外収益計	0		0	
IV. 経常外費用				
経常外費用計	0		0	
当期正味財産増減額	28,402		28,402	
前期繰越正味財産額	98,277		98,277	
次期繰越正味財産額	126,679		126,679	

事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです

2018年6月1日から2019年5月31日まで

単位:円

科 目	30年度あきた産 デアフェア事務 委託事業	31年度あきた産 デアフェア啓務 事業	30年度あきた産 デアフェア啓務 事業	31年度あきた産 デアフェア啓務 事業	管理部門	合計	備 考
<b>I. 経常収益</b>							
1. 受取会費	0	0	0	0	147,000	147,000	
2. 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	
3. 事業収益	267,000	67,000	170,169	39,502	0	543,671	
業務受託収入	264,600	65,000	170,169	39,502	0	539,271	
事業収入	2,400	2,000	0	0	0	4,400	
4. その他収益	0	0	0	0	324	324	
経常収益計	267,000	67,000	170,169	39,502	147,324	690,995	
<b>II. 経常費用</b>							
給与謝礼	200,000	45,000	0	0	25,100	270,100	
諸謝金	0	0	103,428	20,000	28,198	151,626	
法定福利費	0	0	0	0	65	65	
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	
交際費	5,500	0	0	0	5,400	10,900	
会議会場費	6,500	1,300	16,000	0	720	24,520	
旅費交通費	18,375	5,000	8,600	2,700	38,100	72,775	
研修費	0	0	0	0	2,000	2,000	
通信費	7,880	1,900	0	0	20,314	30,094	
消耗品費	0	0	32,141	6,802	6,998	45,941	
外注費	0	0	0	0	6,200	6,200	
光熱水費	0	0	0	0	0	0	
地代家賃	0	0	0	0	0	0	
諸会費	10,000	10,000	10,000	10,000	0	40,000	
支払い手数料	0	0	0	0	1,722	1,722	
租税公課	0	0	0	0	400	400	
その他雑費	900	350	0	0	5,000	6,250	
経常費用計	249,155	63,550	170,169	39,502	140,217	662,593	
当期経常増減額	17,845	3,450	0	0	7,107	28,402	

## 貸借対照表

2019年5月31日現在

特定非営利活動法人 地産地消を進める会

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現 金	43,314	
普 通 預 金	190,711	
振 替 貯 金	53,152	
流動資産合計		287,177
2. 固定資産		0
固定資産合計		0
資産合計		287,177
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
前受金 (31年度あきた産デーフェア啓発事業)	160,498	
借入金	0	
流動負債合計		160,498
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		160,498
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		98,277
当期正味財産増減額		28,402
正味財産合計		126,679
負債及び正味財産合計		287,177

## 財産目録

2019年5月31日現在

特定非営利活動法人 地産地消を進める会

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金		
手許現金	43,314	
普通預金		
秋田銀行 大瀧支店 普通預 口座番号 No. 53066	190,710	
秋田銀行 追分支店 普通預 口座番号 No. 1027490	1	
ゆうちょ銀行 振替貯金 口座番号 No. 02570-6-6224	53,152	
流動資産合計	287,177	287,177
2. 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計		287,177
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
前受金 (31年度あきた産デーフェア啓発事業)	160,498	
借入金	0	
流動負債合計	160,498	160,498
2. 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		160,498
<b>III 正味財産</b>		126,679

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年11月20日、2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

2. 事業費の内訳

別表「事業別損益の状況」の通り。

3. 前受金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
30年度あきた産デーフェア啓発事業	170,169	0	170,169	0
31年度あきた産デーフェア啓発事業 注(1)	0	160,498	0	160,498
合計	170,169	160,498	170,169	160,498

注(1) この事業は2019年4月1日～2020年3月31日を事業期間として今期において200,000円を受領している。そのうち39,502円を除く金額を前受金として計上した。

4. 共通経費の按分の基準

人件費は各事業の従事日数に応じて、通信費と旅費交通費は実際の通信量と移動距離に応じて按分している。



# 監 査 報 告 書

2019年6月22日

特定非営利活動法人 地産地消を進める会  
代表理事 谷口 吉光 殿

秋田市東通1丁目8-34  
石川昭子税理士事務所  
税理士 石川 昭子



私は、令和元年6月22日、特定非営利法人 地産地消を進める会の2018年6月1日から2019年5月31日までの会計年度における財産の状況についての監査を行いました。

## 1. 財産の状況に関する監査

上記会計年度にかかる計算書類、すなわち、活動計算書、貸借対照表、計算書類の注記並びに付属書類、財産目録（以下「計算書類等」という。）について、担当責任者の説明を聴取しながら、元帳及びその他の帳簿と突合し、帳簿の記載内容に関しては証憑書類を調査し、必要と認められるものは実査または確認を行いました。

## 2. 監査の結果

計算書類等は、何れも会計帳簿の記載金額と一致し、当該会計年度末における財産の状況並びに同会計年度の正味財産増減の状況と収支の状況を正しく表示しているものと認めます。

## 監 査 報 告 書

平成30年度事業報告書および平成30年度決算書とこれに関する諸帳簿と証拠書類について、令和元年6月27日に監査したところ、いずれも適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

令和元年6月27日

特定非営利活動法人 地産地消を進める会

監 事 藤原 絹子 

以上のとおり監査の報告をいたします。

特定非営利活動法人 地産地消を進める会

代表理事 谷口 吉光 様

### 3. 2019年度活動計画

1. 会員と一緒に、秋田県内の地産地消、有機農業やグリーンツーリズムの魅力を楽しむ交流ツアーを始めます。

「地産地消」は地元のおいしい食べものや珍しい食べもの、「有機農業」は安全でおいしい食べもの、「グリーンツーリズム」は農家が経営する民宿やレストランと、それぞれ独特の魅力があります。もちろん、そこにはユニークで魅力的な人たちがいます。

会員の皆さんと一緒に、県内各地を訪ねて、地域を支えてがんばっている人たちに出会い、おいしいものを食べて楽しむツアーを始めます。季節ごとに年3~4回開催します。

2. 男鹿市における「オーガニック農業」を引き続き支援します。

特に有機農業に関する研修会の開催を支援します。秋から冬にかけて1~2回。

3. 男鹿・南秋・能代山本地区における「共同事業を通じた小さな仕事のネットワークづくり」と「食と農のコーディネーター」の養成の活動を続けます。

知り合った若い人たちと連携しながら、小さな仕事を作り出す活動を続けます。

4. 秋有協と連携して、食の安全を守り環境に配慮した有機農業を広める活動を行います。

10回目となる「オーガニックフェスタ」は初めて秋田駅前にやってきます（8月24~25日、秋田駅西口大屋根下とアゴラ広場）。土づくりの勉強会などを支援します。

5. 「あきた産デーフェア」を通して、地産地消に取り組む県内事業者を支援します。

（1）「あきた産デーフェア出展者協議会」の支援

引き続き、「あきた産デーフェア出展者協議会」の事務局として開催を支援します。

（2）「地産地消普及啓発事業」の実施

秋田駅西口で開催されている「あきた産デーフェア」の実演ブースで地産地消の食材や料理を紹介します。

6. 「持続可能な社会へのトランジション」の研究を継続します。

常盤ときめき隊の活動を通じて持続可能なまちづくりの実現に取り組みます。

7. さまざまなメディアを通して会の主張や活動を情報発信します。

（1）ホームページを通して情報発信を続けます。

（2）通信やイベントの案内を随時発行します。

## 4. 2019年度予算

NPO 法人の会計は年度途中で助成金が決まるなど計画通りにならないことが多いため、以下の予算(案)は現時点における1年間の予算総額の見通しを示すという意味にご理解下さい。

### 予算書

特定非営利活動法人 地産地消を進める会

2019年6月1日から2020年5月31日まで

単位:円

科 目	特定非営利活動 に関わる事業	その他の事業	合 計	備 考
<b>I. 経常収益</b>				
1. 受取会費	200,000	0	200,000	
2. 受取寄付金	0	0	0	
3. 事業収益	543,671	0	543,671	
(1)元年度あきた産デーフフェア事務委託事業	267,000	0	267,000	
(2)2年度あきた産デーフフェア事務委託事業	67,000	0	67,000	
(3)元年度あきた産デーフフェア啓発事業	170,169	0	170,169	
(4)2年度あきた産デーフフェア啓発事業	39,502	0	39,502	
(5)その他の事業	0	0	0	
4. その他の収益	0	0	0	
(1)雑収入	0	0	0	
経常収益計	743,671	0	743,671	0
<b>II. 経常費用</b>				
1. 事業費	692,495	0	692,495	
給与謝礼	350,000	0	350,000	
諸謝金	150,000	0	150,000	
法定福利費	65	0	65	
福利厚生費	0	0	0	
交際費	10,900	0	10,900	
会議会場費	24,520	0	24,520	
旅費交通費	72,775	0	72,775	
研修費	2,000	0	2,000	
通信費	30,094	0	30,094	
消耗品費	45,941	0	45,941	
外注費	6,200	0	6,200	
その他雑費	0	0	0	
2. 管理費	42,122	0	42,122	
光熱水費	0	0	0	
地代家賃	0	0	0	
諸会費	40,000	0	40,000	
支払い手数料	1,722	0	1,722	
租税公課	400	0	400	
その他雑費	0	0	0	
経常費用計	734,617	0	734,617	
当期経常増減額	9,054		9,054	
<b>III. 経常外収益</b>				
経常外収益計	0		0	
<b>IV. 経常外費用</b>				
経常外費用計	0		0	
当期正味財産増減額	9,054		9,054	
前期繰越正味財産額	126,679		126,679	
次期繰越正味財産額	135,733		135,733	